

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けて

2024年3月11日

証券コード:5356(東証スタンダード・名証メイン)

◆ 現状分析

Point!

業績は近年安定推移、現中期経営計画より株主還元やIRを強化し、PBRは上昇傾向も依然0.54倍と低水準にあり、東証スタンダード市場への上場を機に更なる改革が必要

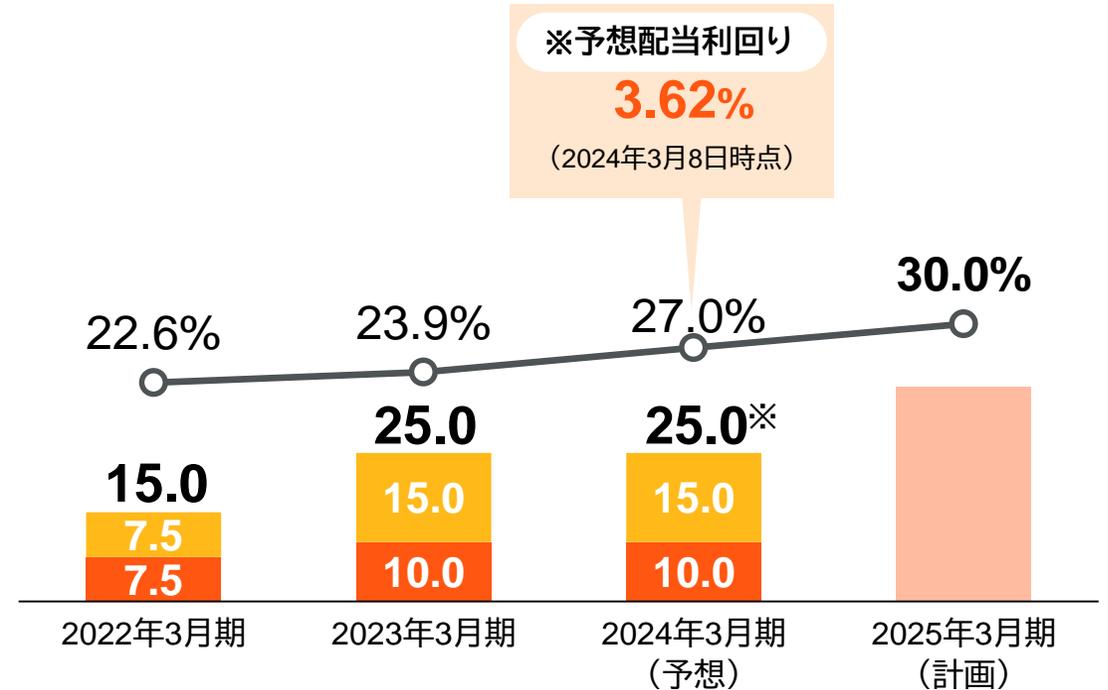
単位:百万円

	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期 (予想)
売上	13,215	11,837	12,410	14,609	14,000
営業利益	1,382	1,157	865	1,394	1,200
営業利益率	10.5%	9.8%	7.0%	9.5%	8.6%
ROE	10.5%	8.1%	6.0%	8.9%	7.5%
株主資本コスト	6.7%	7.4%	5.4%	4.5%	5.5% (※1)
PBR(倍)	0.41	0.46	0.35	0.43	0.54 (※2)
PER(倍)	4.17	5.88	6.01	4.95	7.45 (※2)
時価総額	5,280	6,351	5,151	6,687	8,907 (※2)
株主資本	10,027	10,721	11,242	12,128	12,812

(※1)24年3月8日時点

(※2)PBR、PER及び時価総額の算出に際しては、株価は24年3月8日時点、1株当たり当期純利益は24年3月期予想、1株当たり純資産及び発行済株式総数は23年12月31日時点をベース

- 現中期経営計画では配当性向の上昇(増配)で株主還元を強化すると共に、23年9月期より決算説明資料の開示等でIRも強化
- 2019年度以降のROEは一貫して株主資本コストを上回っている他、株価と共にPBRやPERも上昇しており、一定の成果は出ているものの、PBRは依然1倍割れの状況
- 名証単独上場であったことでの、株式流動性や知名度の低さも遠因(次ページ参照)

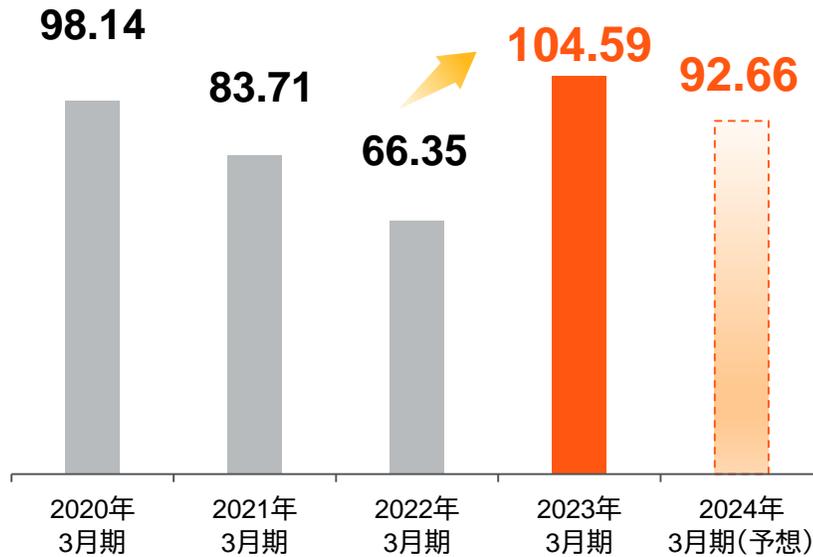


◆ご参考 1株当たり当期純利益・純資産

1株当たり当期純利益は、新型コロナや原燃料価格高騰の影響を受け減少傾向だったが、回復傾向に転じている。
1株当たり純資産は、安定的な利益積み上げにより右肩上がり。業績向上・IR強化により、**PBR1倍以上**を目指す

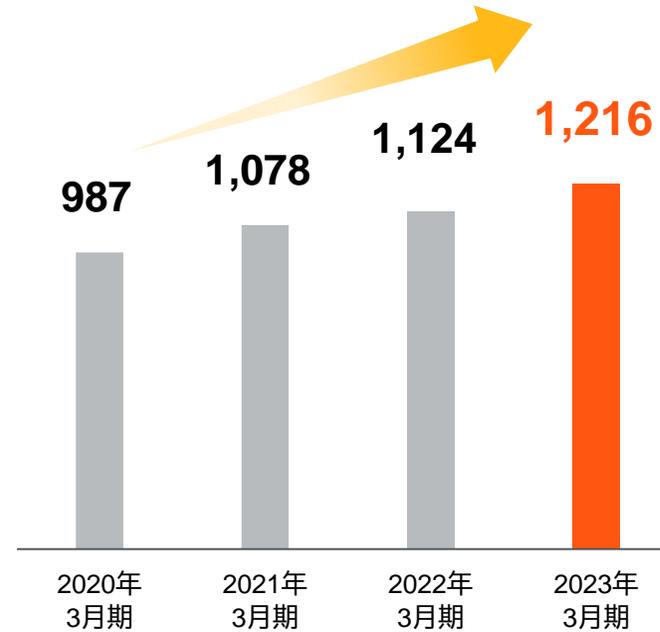
1株当たり当期純利益

(円)



1株当たり純資産

(円)



- 株価の割安割高をみるPER・PBRでは、当社株は**割安**
- 中計を達成し、株価向上を図る

予想PER(株価収益率)^{※1}

MINO(当社)	7.45倍
同業他社予想平均 ^{※2}	8.17倍
東証スタンダード市場 ガラス土石製品平均 ^{※3}	16.3倍

PBR(株価純資産倍率)^{※4}

MINO(当社)	0.54倍
同業他社平均 ^{※2}	1.01倍
東証スタンダード市場 ガラス土石製品平均 ^{※3}	0.80倍

※1 予想PER = 2023年3月8日時点の株価 / 1株当たり当期純利益予想値

※2 同業他社は、黒崎播磨株式会社・品川リファクトリーズ株式会社・株式会社ヨータイ(以上、東証プライム市場上場)・東京窯業株式会社(東証スタンダード市場上場)

※3 2024年2月実績

※4 PBR = 2024年3月8日時点の株価 / 1株当たり純資産

◆ 方針及び取り組み

<収益性(営業利益率)の改善>

- 当社の主力事業である耐火物事業は主要顧客であるセメント業界の業績悪化もあり、原燃料上昇に伴う価格転嫁が追い付かず、セグメント利益率が4.1%(23年12月期)と低迷し、全体の営業利益率8.4%(23年12月期)と比較しても大幅に低い状況
- 適切な水準への価格改定を粘り強く推進し、耐火物事業のセグメント利益5.0%、全体の営業利益率10.0%を安定的に目指す

<株主還元の継続>

- 25年3月期の配当性向目標は30%であり、計画通りであれば増配となる見込み
- 今後も配当性向30%を維持、上記営業利益率の向上に努めることで安定した配当を還元できる見通し
- 含み益が相応にあり、保有意義の低い有価証券を売却し、配当として還元することを検討(24年3月実績:61百万円)

<IR活動の強化>

- IRフェアを活用した対面での個人投資家向け説明会の開催(案:名証IRエキスポ、日経IR・個人投資家フェア)
- 決算説明資料の半期ごとの継続的な開示
- サステナビリティ及び人的資本目標及びその進捗の継続的な開示と着実な達成

- 耐火物事業を中心に全体の営業利益率を高めることで、ROEを上昇させ、安定的に8%台を目指す
- 配当性向を段階的に30%まで引き上げ、利益額の上昇と共に増配を継続していく

	23年3月期 (実績)	24年3月期 (予想)	25年3月期 (計画)
耐火物事業 利益率	2.3%	3.5%	5.2%
全社 営業利益率	9.5%	8.6%	10.5%
ROE	8.9%	7.5%	8.2%
配当性向	23.9%	27.0%	30.0%

- ✓ 東証スタンダード市場への上場により、知名度が向上し、株式流動性が高まり、株価上昇への期待
- ✓ 着実且つ安定的に利益を積み上げ、利益率を向上させることで、株価上昇を目指し、PBR1倍を目指す



シンボルカラー



情熱と未来



信頼と伝統

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、美濃窯業グループは今回の発表内容に関しまして、法令、規則の要因に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました業績見通しなどの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願いいたします。